



行橋市はJリーグ ギラヴァンツ北九州のフレンドリータウンです。

まちの話題 ニュース & トピックス

10時～18時に常設展示中。入場無料です。※火曜休館

緑豊かな海岸線を クロマツ植樹で社会奉仕

海岸線の美しい景観を復活させようと2月23日、葦島・天神ヶ浜で松の植樹活動が行われました。葦島海水浴場組合など地元からの要望を受けた行橋ロータリークラブが行橋高校インターアクトクラブと連携して実現させたもので約40人が参加。およそ1メートルのクロマツの苗木40本を間隔をとって、植えていきました。10年ほどかけて成長が見込めるようで、参加した人達は「大きくなった姿が楽しみ」などと話しながら、作業に取り組んでいました。



海辺の武人が甦る！ 修復後の重要文化財を公開

国の重要文化財「福岡県稲童古墳群出土品」のうち、稲童8号墳出土の甲冑かっちゅうと同21号墳出土の勾玉まかなま・管玉くだなま・鏡の保存修理がこのほど完了。一部を除き、特製の展示用品とともに市歴史資料館で公開中です。いずれも文化庁の補助制度を活用したもので、国宝等の修理を手掛ける元興寺文化財研究所（奈良市）が作業を担当。このうち甲冑は、樹脂で欠損部分を復元したことなどから、約1500年前の姿が想像しやすい状態となっています。



万全のワクチン接種へ医療を支援

行橋市と苅田町で活動するライオンズクラブの役員が3月4日に京都医師会を訪れ、医療用の高性能マスクと手袋を寄贈しました。同クラブが実施している新型コロナウイルス対策支援の一環で、ワクチン接種に際して医療品の不足が心配されることからマスク300枚と手袋6000枚を贈ることとしたそうです。目録を受けとった医師会の大原紀彦会長は「接種には欠かせない必需品なので、有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



作文・感想文でW受賞 文字が伝える二人の想い

「第66回青少年読書感想文全国コンクール」で全国学校図書協議会長賞を受賞した行橋小学校4年の龍山光輝君と、「第70回全国小・中学校作文コンクール」で日本書芸院賞を受賞した姉で同小6年の咲良さんが2月24日、田中市長を訪問しました。光輝君はアフリカでリサイクルに取り組む女性への想いを感想文に、咲良さんは途上国の子ども達への支援策を作文にまとめています。田中市長は「今後も素晴らしい文章を期待しています」と祝福しました。

